



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.124 2022年11月



濱田市長へ要望提出

日本共産党市議員団は、10月17日濱田市長へ、「物価高から市民のいのちと暮らしを守るための要望」を提出しました。コロナ禍の中で、9回目の要望提出です。以下報告します。

物価高から市民のいのちと暮らしを守るための要望

物価高は主に異常な田安によって引き起こされています。原材料の価格の高騰などにより、10月か
らさまざまな商品、サービスの価格が上がり、10月だけでも最大の6699品目の値上げが行なわれ、今年1年間で、2万品目を超え、1世帯あたり、月額5730円に達する見込まれていま
す。電気ガスも値上げになり冬の暖房にも影響があります。市民生活を直撃する項目を要望します。
物価高騰です。



- 1、生活困窮者への国の給付金に加え、市としても支援すること。
- 2、水道料金の基本料の免除を引き続き行うこと。
- 3、ひとり親家庭などへ生活困窮者への食糧支援に取り組むこと。
- 4、国民健康保険料値上げに対して、抑制する対策をすること。
- 5、市内事業者に対して、事業者応援給付金を実施すること。
- 6、公共施設トイレに生理用品を置くこと。
- 7、子どもや女性の貧困の実態を把握し、支援に努めること。
- 8、介護保険の利用料への減免制度を実際に利用できるように拡充すること。
- 9、小学校の給食費を来年度以降も無償化する。

償化する。

濱田市長は、参考にして市として何ができるか、考えたいと言われました。日本共産党市議員団は、引き続き実現できるように頑張ります。

12月議会日程

12月2日(金)	本会議／提案理由説明
6日(火)	本会議／質疑
8日(木)	文教にぎわい委員会 福祉企業委員会
9日(金)	市民都市委員会 総務消防委員会
19日(月)	本会議／採決、一般質問
20日(火)	本会議／一般質問

ぜひ傍聴をお願いします。
※いずれも午前10時開会です。



問われる支援学級のありかた

今年4月、文部科学省が全国の教育委員会に支援学級の在り方を発出しました。

その内容は支援学級に在籍する子どもは「週の授業時間の半分以上を支援学級で授業をすること」という内容です。現在はたとえ、国語や数学など限られた教科のみ、支援学級で学ぶことは可能ですが、これが実施さ

れると、この子どもたちは、通級教室を利用しながら通常学級で学ぶということになります。この通知をもとに高槻市では来年4月からの進級に向けて、保護者懇談などが行なわれ、支援学級に残るか、通常学級に変更するか

の選択を本人や保護者は迫られています。保護者から大きな不安の声が出ています。

通級指導教室は支援学級の代わりにはならない

通級指導教室は2022年度、小学校41校中14校、中学校18校中3校しかありません。通級指導教室がない学校の子もは他校まで通わなくてはなりません。付き添いは保護者です。全校での設置が必要です。

また。通級指導教室は情緒障害や吃音など支援する対象は限られ、知的障がいのある子どもを対象とはしていません。軽度の知的障害のある子どもは、通常学級への変更しかなくなる場合も出てきます。

日本共産党が教育委員会に求めたこと

①保護者の合意なしに変更しないこと

保護者や本人の意向を踏まえ、急な変更が負担にならないよう十分配慮し、丁寧に検討することが必要です。

②支援学級に入りにくいこと

現在、支援学級に在籍している保護者向けには「一人一人の障害状況等はそれぞれに異なることから、支援学級での学習時間を一律に設定することが困難な場合も考えられる」との記述があります。新1年生の手紙には記述がありません。新1年生にも詳しく説明することが

必要です。

③教育環境の充実

2021年度、大阪府下の支援学級に在籍する子どもは、支援教育が始まった2007年と比べ、約3.5倍増えていますが、学級数は約2.5倍しか増えていません。障害の複

雑化に対応するためにも教員と特別支援

教育支援員を増やすべきです。

何よりも本人の発達の保障を

わたしは、障害をもちながら、通常学級で学んでいる子どもに、本当に学びの場を保障しているのか、ただ黙って座っているだけの子どももいるのではないのかという疑問をもつことがあります。一人一人の子どもに学びの場を保障するためにはさらなる少人数学級が必要だし、教員を

もっと増やすことも必要です。日本の教育費は先進国の中でも最低です。目に見えるもうけではなく、教育や福祉には費用対効果など考えるべきではありません。



10月23日、扇町公園で「統一地方選勝利をめざす躍進のつどい」が5,000人の参加で行われました。小池晃書記局長の訴えもあり、会場は歓声と熱気にあふれました。



いま、おすすめしています

しんぶん赤旗

日刊●月3,497円／日曜版●月930円

